

第9回通常総会 議事録

2012（平成24）年6月27日

特定非営利活動法人（NPO）

日本知的財産翻訳協会（NIPTA）

特定非営利活動法人（NPO）日本知的財産翻訳協会
第9回通常総会 議事録

1. 日時 2012（平成24）年6月27日 15:00-16:00

2. 場所 東海大学校友会館 相模の間
東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル35階

3. 議題

（1）審議事項

第9回通常総会提出議案について

- | | |
|-------|------------------------|
| 第1号議案 | 2011（平成23）年度事業報告について |
| 第2号議案 | 2011（平成23）年度会計収支報告について |
| 第3号議案 | 2012（平成24）年度事業計画について |
| 第4号議案 | 2012（平成24）年度会計収支予算について |
| 第5号議案 | 定款の変更について |
| 第6号議案 | 役員選任等について |

（2）その他

4. 出席者

現在数	理事 17名
出席者数	理事 8名 監事 1名 会員 5名
出席者名	理事 石井 正
	理事 稲葉良幸（書面による表決参加）
	理事 尾上道雄
	理事 恩田博宣（書面による表決参加）
	理事 北澤三郎
	理事 幸田全弘（書面による表決参加）
	理事 小谷悦司
	理事 小林行司（書面による表決参加）
	理事 杉村純子（書面による表決参加）
	理事 高見和明（書面による表決参加）

理事 浜口宗武
理事 東 郁男（書面による表決参加）
理事 深見久郎
理事 堀部茂遠
理事 矢間伸次（書面による表決参加）
理事 山根信成
理事 吉田維夫
監事 平沼伸平
会員 畔上淳
会員 神林恵美子
会員 瀧野秀雄
会員 野崎哲郎
会員 パパットヴィニット
会員 伏見靖
書面による表決参加会員 77名

5. 議事経過

（1）開会

定刻になり浜口常務理事が第9回通常総会の開会を宣言した。その後、石井理事長に挨拶を求めた。

（2）田中理事長挨拶

石井理事長より各理事、会員のご出席への謝辞とともに、今年度の当協会の活動状況と今後の目標について語られた。

（3）議長選出

定款第26条に従い、議長の選任について諮ったところ、「司会一任」の声があり、司会より石井理事長を指名し、全員異議なくこれを承認した。

（4）議事録署名人の選出

議長は議事に先立ち、議事録署名人2名の選出について諮ったところ、「議長一任」の発言があり、議長は堀部茂遠理事と山根信成の両氏を議事録署名人として指名した。

（5）総会成立確認

- ✓ 事務局より、第9回通常総会開催日の前日6月26日時点で、出席者13名、委任状による出席者77名、計80名で、正会員数155名の半数77名を超えており、

定款27条により本総会は成立しているとの報告があった。

(6) 審議事項

- (1) 第1号議案 2011(平成23)年度事業報告について
- (2) 第2号議案 2011(平成23)年度会計収支報告について
- (3) 第3号議案 2012(平成24)年度事業計画について
- (4) 第4号議案 2012(平成24)年度会計収支予算について
- (5) 第5号議案 定款の変更について
- (6) 第6号議案 役員選任等について

(7) 議事の経過の概要及び議決の結果

(7)-1 第1号議案及び第2号議案について、配布資料に基づき浜口常務理事より説明がなされた。

・第1号議案 2011(平成23)年度事業報告について

1. 第12回知的財産翻訳検定<第7回和文英訳>試験の実施について
資料に加え、検定試験回数の通し番号と試験の内容について口頭で説明がなされた。
2. 第13回知的財産翻訳検定<第6回英文和訳>試験の実施について
資料に加え、検定試験回数の通し番号の試験の内容について口頭で説明がなされた。
3. セミナー開催結果について
東京、大阪において、計3回、セミナーを開催した旨説明がなされた。
4. 知財翻訳検定試験への「特許庁後援名義」の使用許可について
一昨年から引き続き使用許可を得たとの説明が加えられた。
5. 会誌「知的財産翻訳ジャーナル」の発行について
7. 過去問題集の発行について

第6回から第14回を含むCD-ROM版を2012年秋に発行する予定であるとの説明がなされた。

8. 会員現況について

配布資料の訂正があり、2012年3月31日現在の会員数(入金者のみ)は155名である旨報告がなされた。

・第2号議案 2011(平成23)年度会計収支決算報告について

平成23年度会計収支計算書(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)、平成23年度会計貸借対照表等(平成24年3月31日現在)をもとに説明がなされた。

収入の部の2011年度予算達成率は、入会金収入40%、会費収入78%、賛助会費収入105%、事業収入の部の知財翻訳認定事業収入は131%を達成したが、他の講習会・セミ

ナ一事業収入・広告収入、普及啓発事業収入は当初予算には及ばなかった。

支出の部は未払い費用28万があるため、合計で647万となり、前期繰越金25万円を差し引いて次期への繰越収支差額は8万8,930円となった。

上記の説明がなされた後、平沼監事より、監査報告書が読み上げられた。

○採択

第1号議案及び第2号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い全員一致の賛成で承認された。

(7)－2 次いで、第3号議案及び第4号議案について、資料に基づき浜口常務理事より説明がなされた。

・第3号議案 2012（平成24）年度事業計画について

2012（平成24）年度事業計画(案)をもとに説明がなされた。

(1) 知的財産翻訳検定の実施

(ア) 第14回 知的財産翻訳検定＜第8回和文英訳試験＞2012年4月22日（日）

1級、知財法務実務において初の海外在住者の合格が出た旨説明がなされ、また、1級、バイオにおいては初の合格者が出た旨報告がなされた。また、資料にブランクとなっていて3級合格者は11名である旨合わせて報告がなされた。

(イ) 第15回 知的財産翻訳検定＜第7回英文和訳試験＞2012年10月28（日）

試験時間を調整し、各分野併願ができるようにシステムを改良したい旨説明がなされた。

(2) 知的財産教育研究・専門職大学院協議会について説明がなされた。

(3) 日中知的財産翻訳者育成事業についてフォローしていく旨説明がなされた。

(4) 知財翻訳業務振興調査研究事業について独立行政法人情報通信研究機構に協力していく旨説明がなされた。

(5) 知的財産翻訳の普及事業として、講習会の実施、「知的財産翻訳ジャーナル」の月間発行、知的財産翻訳検定過去問題集の出版を行う旨説明がなされた。

(6) 会勢拡大の取り組みとして、一般企業、フリーランス翻訳者のみならず、大学3年生、大学院生へ案内を強化していく旨説明がなされた。

・第4号議案 2011（平成23）年度会計収支予算について

2012年度予算書（案）をもとに説明がなされた。

会費収入目標について、機械翻訳評価委員会への参加により、事業収入として知財翻訳業務振興調査研究事業収入に280万が加わり、収入の部は1,168万円を計上。

続いて支出の部としては機械翻訳評価委員会に係る事業費として171万円が計上され、収入と支出の差はプラス178万円を見込むとして説明がされた。

○採択

第3号議案及び第4号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い、賛成多数で承認された。従って、議案から「(案)」の字を取ることにした。

・第5号議案 定款の変更について

本件について、関根事務局次長より、新NPO法の改正に伴い認定NPO法人の取得を目指し、定款の一部を変更する旨説明がなされた。

○採択

第5号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い出席者の4分の3以上の賛成で承認された。従って、議案から「(案)」の字を取ることにした。

・第6号議案 役員選任について

浜口常務理事より、次の役員辞任及び選任(案)について説明がなされた。

1. 辞任する役員

現理事杉村純子氏は、日本弁理士会役員交替により退任。

2. 選任する役員

理事神林恵美子氏は、日本弁理士会役員交替により前任者の残存期間（2012年6月27日から2013年6月30日まで）の任期中で選任する。

○採択

第6号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い全員一致で承認された。

6. 閉会

以上をもって通常総会の議事を終了したので、議長は議事進行協力への謝意表明とともに閉会を宣言した。

以上、本議事録が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次のとおり記名押印する。

2012 (平成24) 年 月 日
特定非営利活動法人 (NPO) 日本知的財産翻訳協会

議長

石井 正



議事録署名人

堀部 茂遠



議事録署名人

山根 信成

